単 元 名	Multi Plus	配当時間	５～12時間
単元の目標	(1) 既習の英語を使って課題に取り組もうとする。 (2) 与えられたテーマと例を基に，既習の英語を使って話したり書いたりすることができる。 (3) ある話題についてのまとまった英語を聞いたり，読んだりして理解することができる。		

☆本単元では，よく使われる話題をテーマに４技能を駆使して課題に当たる。それまでに学習した文型や語句などを復習し，実際に使う場面で再度確認させ，定着させたい。

教科書のモデルを参考にして英語で表現しよう。

①★**MP1(1)** 日本の風物を紹介する英文を書く。
評既習の英語を使って，日本の風物を説明することができる。
（発表，観察，作品点検）
② **MP1(2)** 他の日本の風物を説明する文を書いて発表する。
③★**MP2(1)** 修学旅行について感想文を書く。
評既習の英語を使って，修学旅行についての感想文を書くことができる。（発表，観察）
④ **MP2(2)** 前時に書いた感想文を発表する。
⑤ **Speaking Test** 修学旅行についてＡＬＴの面接テストを受ける。
⑥★**MP3(1)** 留守番電話の伝言メッセージを作る。
評既習の英語を使って，伝言の対話をすることができる。
（発表，観察）
⑦ **MP3(2)** 電話での対話文をつくり発表する。
⑧ **Speaking Test** 電話での対応のテストを受ける。
⑨★**MP4(1)** 海外旅行に役立つ表現を使う練習をする。
評既習の英語を使って，ホテルへのアンケートを完成することができる。（点検，観察）
⑩ **MP4(2)** 機内放送を聞き取る。また，前時のアンケートの文を発表する。
⑪★**MP5(1)** 絵を見ながらスキットをつくる。
評既習の英語を使って，スキットをつくることができる。
（発表，観察）
⑫ **MP5(2)** スキットを演じる。

①・日本の風物に対する発見・感想等のスピーチ
・紹介文づくりのアドバイス
②・発表に対するコメント
・生徒の発表の評価
③・自国での学校からの旅行的行事についてのスピーチ
・感想文づくりのアドバイス
④・発表に対するコメント
・生徒の発表の評価
⑤・面接官
・内容・なめらかさ・発音などの評価
⑥・電話に関するエピソードや日本との習慣の違いに関するスピーチ
・モデル・ダイアログ提示
⑦・生徒作品の評価とコメント
・スキットづくりのアドバイス
⑧・面接官
・内容・なめらかさ・発音などの評価
⑨・海外旅行での経験に関するスピーチ
⑩・発表に対するコメント
・ロールプレイでのホテルマン役
⑪・ある絵をみながらのＪＴＥとの対話
・スキットづくりのアドバイス
⑫・スキットに対するコメント

o①の日本の風物の紹介は，Warm upでの国や年中行事の紹介とともに授業開始時の発表を継続するなどして全員の発表機会を設けてもよい。
o⑤のSpeaking Testにおいては全員に課題を与えておき別室で行う。
o⑥電話での対話は１，２，３年とSpeaking Plusで扱っており，伝言も３年のSpeaking Plusで学習したばかりである。それらを総合的に復習しながらペアでの対話文づくりに挑戦させたい。
o⑨では教師自らの経験を話したり，生徒の中に海外旅行で困った経験をもつものがいるかどうかを尋ねることもモチベーションを高めるのに有効であろう。
o⑬では生徒に自由に絵を描かせてそれに対する英語を工夫させるとよい。

東京書籍　http://www.tokyo-shoseki.co.jp/